

1. 件 名：国立研究開発法人日本原子力研究開発機構との審査等の進め方に関する面談

2. 日 時：令和3年8月17日（火）9：00～9：55

3. 場 所：原子力規制庁10階南会議室（テレビ会議）

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 研究炉等審査部門

志間安全規制管理官（研究炉等審査担当）、来住補佐、小多係長

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

安全・核セキュリティ統括部 奥田部長 他4名

バックエンド統括本部 塩月本部長代理 他1名

大洗研究所 保安管理部 飯田部長 他2名

5. 要 旨

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構（以下「機構」という。）から、HTTR 商用電源喪失による手動停止の大洗研究所（北地区）の停電時の対応及び機構における許認可審査案件について、主に以下のとおり説明があった。

- ・令和3年8月9日の深夜に発生したHTTR 商用電源喪失について、規制委員会に対する第一報から第二報までの間に時間の開きが生じてしまった点については、事象の確認に時間を要したことが主な要因である。初動対応の強化については、理事長からも厳しく指摘されており、今後、機構全体として強化していく。
- ・資料2は、機構の許認可審査案件について優先順位をつけたもの。許認可期限の列に書いた期限までに許認可がなされるように説明を行う予定。

これに対し、規制庁からは主に以下の点を指摘した。

- ・緊急時の初動対応において、今回の件で明らかになった課題を踏まえ、初動対応体制の改善に努めること。

これに対し、機構からは了解した旨回答があった。

6. 配付資料

資料1－1 HTTR 商用電源喪失による手動停止について

資料1－2 大洗研究所（北地区）における停電時の対応について

資料2 原子力規制庁研究炉等審査部門等における JAEA 許認可審査案件

以上